

環境関連データ 2019-2023年度推移



■CO₂排出量 (Scope1・2) (t-CO₂) 極東開発グループ(国内・海外) ※1

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
Scope 1 (直接排出)	計	8,763	7,680	8,186	8,433	8,466
	国内	8,643	7,556	7,853	7,863	8,063
	海外	120	124	333	570	403
Scope 2 (間接排出)						
マーケット基準※2	計	14,774	14,162	14,549	11,683	13,076
	国内	14,774	14,162	14,549	11,683	13,076
	海外	—	—	—	—	—
ロケーション基準※3	計	14,125	14,487	16,995	16,709	18,098
	国内	13,440	13,551	13,073	12,548	12,931
	海外	685	936	3,922	4,161	5,167
CO ₂ 総排出量						
マーケット基準※4	合計	24,222	22,778	26,657	24,277	26,709
ロケーション基準	合計	22,888	22,167	25,181	25,142	26,564

※1 Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesiaは2020年度より算定開始。エフ・イ・オート、SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITEDは2021年度より算定開始

※2 マーケット基準…電力購入の契約に基づく排出係数を用いる方法。国内は電気事業者別排出係数（環境省・経済産業省）を使用

※3 ロケーション基準…国や地域など特定の区域で電力を発電する排出係数の平均を用いて算出する手法。国内は全国平均係数（環境省・経済産業省）を使用。

海外はIGES List of Grid Emission Factors (IGES) を使用

※4 国内はマーケット基準、海外はロケーション基準の手法で算出

■CO₂排出量 (Scope3) (t-CO₂) 極東開発グループ(国内・海外)

カテゴリー		2022年度	2023年度
1	購入した製品・サービス	—	—
2	資本財	14,396	30,516
3	スコープ1・2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	—	—
4	輸送・配送（上流）	—	—
5	事業から出る廃棄物	—	—
6	出張	1,303	1,548
7	雇用者の通勤	2,642	2,627
8	リース資産（上流）＜対象外＞	—	—
9	輸送・配送（下流）	—	—
10	販売した製品の加工＜対象外＞	—	—
11	販売した製品の使用	9,180,752	9,829,940
12	販売した製品の廃棄	—	—
13	リース資産（下流）＜対象外＞	—	—
14	フランチャイズ＜対象外＞	—	—
15	投資＜対象外＞	—	—
合計		9,199,093	9,864,631

■エネルギー使用量 (GJ) 極東開発グループ (国内・海外) ※

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
国内	—	—	426,263	425,159	377,851
海外	—	—	49,812	52,941	55,402
計	—	—	476,075	478,099	434,748

※ エフ・イ・オート、SATRAC ENGINEERING PRIVATE LIMITEDは2021年度より算定開始

■太陽光発電量 極東開発グループ (国内・海外)

自家消費

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
極東開発工業 三木工場：1,999kW規模 (kWh)	—	—	—	—	476,156
極東開発工業 名古屋工場：16.5kW規模 (kWh)	—	—	—	—	2,555
合計	—	—	—	—	478,711

売電

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
極東開発工業 福岡工場：1,500kW規模 (kWh)	1,722,740	1,789,776	1,697,768	1,876,940	1,843,799
極東開発工業 旧東北工場：1,500kW規模 (kWh)	2,347,819	2,166,445	2,369,608	2,134,630	2,224,989
日本トレクス 音羽事業所：350kW規模 (kWh)	520,697	521,956	517,703	516,900	519,971
合計	4,591,256	4,478,177	4,585,079	4,528,470	4,588,759

■廃棄物発生量

極東開発工業、日本トレクス

廃棄物

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総廃棄物量 (t)	2,681	2,345	2,426	2,132	2,593
再資源化量 (t)	2,639	2,303	2,388	2,068	2,537
最終処分量 (t)	42	42	38	64	56
再資源化率 (%)	98.4	98.2	98.4	97.0	97.8

うち有害廃棄物

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
有害廃棄物 (t)	—	—	0	0	16

うちプラスチック

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総廃棄物量 (t)	—	—	—	—	653
再資源化量 (t)	—	—	—	—	618
最終処分量 (t)	—	—	—	—	35
再資源化率 (%)	—	—	—	—	94.6

■水資源投入量・排出量

極東開発グループ(国内・海外) ※1

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
投入量 (m ³)	上水道	77,406	76,562	210,620	100,186	100,487
	地下水	※2129,912	160,055	159,097	143,530	157,650
	工業用水	0	0	0	0	42,393
	計	207,318	236,617	280,869	243,716	300,530
排出量 (m ³)	河川	—	—	*3135,482	143,856	177,527
	下水道	—	—	*366,143	84,341	86,669
	計	184,348	203,474	201,625	228,197	264,196

※1 振興自動車、北陸重機、振興自動車、北陸重機工業、エフ・イ・オートは2022年度より算出、海外拠点は2023年度より算出

※2 井水メータ故障により計測が不正確

※3 推測値での算出

■BOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）排出量

極東開発工業、日本トレクス

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
BOD (t)	—	—	—	—	4.09
COD (t)	—	—	—	—	1.13

■VOC 極東開発工業

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総VOC量 (t)	68	72	75	61	65
原単位 (g/m ²) ※	79	96	103	98	99

※塗装面積当たりのVOC排出量

■NO_x (窒素酸化物)、SO_x (硫黄酸化物)

NO_x・SO_xについては、法令に従い定められた頻度で測定を実施しています。
排出量がごく少量のため、開示を控えさせていただきます。

■PRTR 極東開発工業

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
取扱量 (t)	—	—	—	—	60
排出量・移動量 (t)	—	—	—	—	52

■ISO14001取得状況 極東開発工業、日本トレクスの本社及び工場

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ISO14001取得事業所割合 (%)	100	100	100	100	100

■環境コンプライアンス 極東開発グループ（国内）

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
環境法令違反（件）	—	—	0	0	0
うち、水質・数量に関する 法令違反（件）	—	—	0	0	0
罰金額（円）	—	—	0	0	0

■環境会計 極東開発工業

環境保全への取り組みを効率的にかつ効果的に推進することを目的として、事業活動における環境保全コストのためのコスト及び効果を把握し、環境省発行の「環境会計ガイドライン」に沿って環境コストと環境効果を集計しています。

【環境保全コスト】

コスト分類	主な取り組みの内容	2022年度		2023年度		前年比増減	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
(1) 事業エリア内コスト (百万円)		43	82	687	98	644	16
①公害防止コスト	公害防止設備、水質汚濁防止などのコスト		14		16		2
②地球環境保全コスト	省エネルギー設備のコスト	43		687	13	644	13
③資源循環コスト	廃棄物の分別回収、処理などのコスト		68		69		1
(2) 上・下流コスト (百万円)	グリーン調達、リサイクルなど		0		0		0
(3) 管理活動コスト (百万円)	ISO関連費用、教育		6		6		0
(4) 研究開発コスト (百万円)	環境保全に資する製品等の研究開発コスト		490		686		196
(5) 社会活動コスト (百万円)	自然保護、緑化、環境団体への寄付、支援		3		12		9
(6) 環境損傷対応コスト (百万円)	環境汚染の修復費用		0		0		0
合計		43	581	687	802	644	221

【環境保全効果】

■費用削減効果

分類	項目	効果
収益	廃棄物のリサイクルに伴う収益 (百万円)	2
費用節減*	エネルギー費用の削減 (百万円)	△68
	廃棄物処理費用の削減 (百万円)	0
	水購入量削減 (百万円)	△2

■環境保全効果 (物量効果)

分類	項目	2022年度	2023年度	環境保全効果
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (G J)	246,168	230,968	△15,200
	水資源投入量 (千m ³)	143	161	18
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	11,151	12,522	1,371
	廃棄物総発生量 (t)	1,041	1,384	343
	廃棄物最終処分量 (t)	2	21	19

※対象年実績と前年実績の差を「効果」として算出。△は金額が増加したことを示しています。